

第 2 回学校協議会記録

平成 25 年 10 月 24 日職員会議資料

学校協議会委員の出席者：

大阪大学名誉教授・台湾大学客座教授

放送大学客員教授

笠井 俊夫 様

大阪大学ナノサイエンスデザイン

教育研究センター特任教授

奥山 雅則 様

大阪市立阪南中学校 校長

柴田 俊次 様

住吉高校後援会会長

川下 昭彦 様

住吉高校PTA会長

波々伯部 益尚様

本校出席者：校長、教頭、事務長、岡本首席、山中首席、乾、斎藤、藤井、
辻田（司会）、丸山（記録）

配付資料：

1. SSHの取組報告
2. 3年生進路指導状況、海外大学進学状況
3. EFHS事業報告
4. 国際交流行事報告
5. ユネスコスクール活動報告
6. 改定版 学校パンフレット

協議内容

○本校の現状報告

平成 25 年度前期の事業報告とこれからの取組について （校長より）

○質疑応答と協議委員からの提言

注）「協」は学校協議委員、「学」は学校側の教員

海外大学進学について

協：海外の大学に進学した生徒について、入試や大学の授業で、言語で困ることはないのか。

学：英語に関してはもちろん、その他の言語についても、住吉高校で第 2 外国語として学び、授業等で問題のない生徒が進学している。

協：入試要項や手続きの仕方、レベル等のデータはあるのか。

学：そのようなことは東京の方では進んでいるが、大阪ではまだまだ整備されておらず、個々で行っている。海外の大学は多種多様で選択肢も多く、かなり複雑で同じものが二つとないくらいである。

協：実際に進学している卒業生に来てもらい、在校生に向けて体験談を話しえもらえばいいのではないかと。住吉高校が海外大学進学の情報発信元となり、それが一つの「売り」になればいいのでは。

高校入試について

協：来年度入試から学区が撤廃されるが、その影響はあるか。

学：住吉は元々学区は関係ないので、影響は小さいと思う。いわゆるトップ10の高校に影響があるのではないか。

行事について

協：行事が多すぎて、子供たちが忙しくて勉強に向かっていけないのではないかな？
予算がついているから出来ることであり、予算がなくなったときにもできることを考えていかなければいけないのではないかな？

学：行事、会議等、精査して減らしたりスリム化していきたい。

学：進路行事については、オープンキャンパス等を活用して減らしていく。

学：SSHの行事については、ポイントを絞った企画を残していくように検討していく。

協：減らしたら良いという訳ではない。減らしたらどうなるのか。行事を行って、どういう成果があったのか、またはなかったのか、をしっかりと分析して、どうしていくか慎重に考えるべきではないか。行事のスリム化で生徒が勉強に向かっていける環境を作ることが課題である。

平成25年10月11日（金）18：00～19：00 北畠会館にて